

中国四国学生会の活動

1. 中国四国学生会について

中国四国学生会は、中国 5 県（岡山、鳥取、島根、広島、山口）と四国 4 県（愛媛、香川、高知、徳島）の 13 大学、12 高等専門学校と 1 大学の合計 26 校で組織されている（会員数：約 580 名）。活動は、六つの地区（岡山、山陰、広島、山口、愛媛、南四国）から選出した委員長校 1 校と幹事校 5 校により運営されている。2014 年度の委員長校は近畿大学が務める。以下に、2013 年度の主な活動状況を紹介する。

2. 卒業研究発表講演会

2014 年 3 月 6 日に、2013 年度委員長校 鳥取大学鳥取キャンパス（鳥取市）を会場に、第 44 回学生員卒業研究発表講演会が講演申込件数 225 件、講演室 11 室で開催された（参加登録者数：391 名）（図 1, 2）。毎年、1

年間取り組んできた研究成果を熱心に発表し、また、発表に対し活発な討論がなされ、優れた発表者には優秀講演発表賞（各室 2 名）を贈っている。発表者は本会の学生員であることが条件とされているため、これまで学生員数は大きく変動することなく維持してきたが、このところの講演件数の減少傾向（第 39 回：320 件、第 40 回：348 件、第 41 回 301 件、第 42 回 303 件、第 43 回 234 件）で若干会員数にも影響が見えてきたように思う。学生は、この研究発表会で発表することが会員となる一つの機会になっている。こうしたことを考えると、卒業研究発表講演会をより活性化させ、さらに多くの学生が学生員となることを、そして卒業後も継続して本会会員として活躍してくれることを期待する。2015 年 3 月は、第 45 回学生員卒業研究発表講演会を近畿大学工学部広島キャンパス（東広島市）での開催を予定している。多くの講演申込み、参加で講演会が活発に行われることを期待する。

3. 機械の日・機械週間、「メカライフの世界」展

8 月 7 日の「機械の日」を中心に、各会員校では「機械の日」イベントを開催している（図 3, 4）。多くはオープンキャンパス開催に合わせ^{のぼり}を立て、ポスターの掲示、パンフレットの配布、研究室の公開や見学会など種々の企画が実施され、先端機械システム技術の啓蒙、本会の紹介・説明および 8 月 7 日が「機械の日」であることを周知する。また、夏休み親子イベント、もの作り体験講座や「メカライフの世界」展（表 1）など小学生から一般人までを対象とした企画により、機械システム技術に興味と理解を深めてもらうよう努めている。

4. 親睦会ほか

地区ごとに、親睦会、見学会、講演会、ソフトボール大会や駅伝大会などを企画し、研究の合間に学生員同士の親睦を深めている。
〔鳥取大学 宮近幸逸〕



図 1 卒業研究発表講演会看板(鳥取大学)

表 1 2014 年度「メカライフの世界」展のテーマ一覧

学校名	テーマ
松江工業高等専門学校	作って学ぼう“飛ぶ”のしくみ —クイズ大会 & ペーパーグライダー工作教室—
松江工業高等専門学校	“歩く”を学ぶ —簡単に作れる段ボール二足受動歩行機—
弓削商船高等専門学校	環境と新エネルギー（学科展示と公開講座）
米子工業高等専門学校	地球環境にやさしいスターリングエンジン・スターリングクーラーの体験授業
香川高等専門学校	ソーラーカー、エコカーの仕組みを学ぼう
水産大学校	海洋・水産に関わる機械工学



図 2 卒業研究発表講演会の様子(鳥取大学)

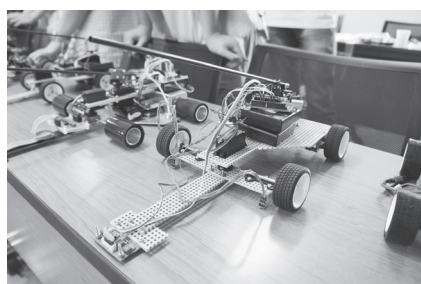


図 3 ロボットコンテスト 1 (鳥取大学)

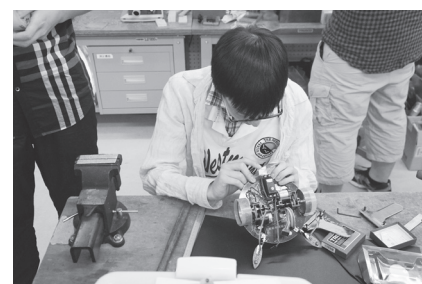


図 4 ロボットコンテスト 2 (鳥取大学)